

項目	時間	備考 (関連資料)
0. 最初に		
初心者に配慮したイベントであるとともに、経験者にも満足してもらえる大会を志向し、ホスピタリティある愛好者を育て、かつ会員の資質向上を図りスムーズな世代交代を促進する。		
1. 運営全般		
(1) 事前・当日準備及び運営留意事項	9:20~9:40	
2. 地図調査	9:40~10:10	
(1) 地図規程		J SOM2007、JSSOM2007(調査基準の共通理解)
(2) 調査技術		等高線の修正、基盤地図情報、航空レーザ・GPSデータの活用
3. OCADコース作図	10:10~12:00	
(1) OCAD作図		
(2) OCADコース作図と留意点(配置、印刷等)		
(3) 実習 (昼食)	(12:00~12:50)	
4. コース設定について	12:50~16:00	
(1) コース設定のプロセスと留意点		ディレクタテキスト、インストラクタ養成講座資料
(2) 競技規則		競技規則、競技規則ガイドライン、フィットネス実施規程
(3) コース設定の原則		コース設定の原則
(4) コントロールに関する規程(JSCD)		コントロールに関する規程(JSCD)
(5) ルートプランニングの研究		JOA「初中級者向け指導教本」
(6) コースプランニングの事例研究と実習		白石島、吉備高原鳴滝湖他コース図と参加者アンケート
5. 前回「計セン編(Mulka2)」の復習 留意事項	16:00~16:50	Mulka2使用計センの事前準備と当日手順について
4. 地図調査		
地図調査要領1406参照		
5. OCADコース作図		
<ul style="list-style-type: none"> 位置説明表記は間違い漏記がないか繰り返し確認すること。(特に方位関係) 16倍拡大位で精度等確認後コース地図エクスポート。番号位置移動、結合線カットなど調整。(競技者の視点) 0マップ作成ができることとOCAD操作ができることはイコールではない。OCAD操作は覚えれば簡単。0マップ作成、コース設定、地図調査は深く関連しており、競技規則を含めた規定類全般を熟知しておくこと。 		
6. コース設定		
<ul style="list-style-type: none"> トレインを熟知しておくこと。またJOA指導教本(初中級者編)の技術レベルを理解しておくこと。 最初に数多くのコース案(コースレイアウト)を作り、1ヶ月くらい時間をかけて絞り込む(アイデアの熟成) 置いてみたいところに置いてみて、間のコントロールを外してみれば意外とよくなる。 ロングレグ、ミドルレグ、ショートレグおよび脱出角度の変化を組み合わせる。 コースの良し悪し、難易度はコントロール設置位置ではなくレグである ウイニングタイムは、過去のコース記録、キロ当たりの時間想定、自分が走った場合の時間などから想定する。 		
1. 計セン関係全般		
<ul style="list-style-type: none"> ミスは必ずある。何事も間違っているかもしれない視点で多面的なクロスチェックが肝要(思い込みの絶対排除)。また、間違わないやり方の励行(コピー&ペーストなど)。 この場合でも都度の確認と仕上げの確認が必要。まとめたの確認のみではミスが見つかり難い。 関連データ(事前申込者リスト、出走リスト、startlist、成績表等)の字体、姓名のスペースは統一しておくこと。単にコピー&ペーストでは元の字体がペーストされる。セルをダブルクリック後ペースト。姓名のスペースは注意。 パソコン(ソフト)は使ってみるのが一番、習うより慣れよで、最少からうまい(習熟した)人はいない。 		
2. EMITシステム		
<ul style="list-style-type: none"> E-Cardのユニット最大記録数は48である(スタートユニット+リーディングユニットを含め50)。 E-Card、ユニットが正常であることを必ず確認。 ユニット(特にスタートユニット)とE-Cardは同梱しないこと。 県協会所有コントロールユニットのコードは121~160であり、ピン穴はセンター軸より下側。 バックアップラベルは4隅を確実にめ込んだ後中心軸部をはめ込むこと。白色ラベルは外れやすいようである。 		
3. Mulka2		
<ul style="list-style-type: none"> アクシデントへの対応力を養っておくこと(マニュアル熟読とMulka2画面で種々いじくってみる)。 E-Card読み取り不能、番号違い、スタート時刻間違い、ペナがおかしい、ユニットが作動しないetc パソコンの電源はディスプレイOFFとかスリープ設定をしないようにしておくこと 電源オプション。 startlist.csvでしか読み込まないので名前変更、excel(拡張子xls、xlsx)はダメ フォルダオプション。 OCADからエクスポートしたコースデータ(13course.coursesV8など)も名前変更はダメ。 したがってイベントごとに関係資料を入れるフォルダは必ず分けておくこと。 startlist、出走リスト作成は必ず「コピー&ペースト」で行い、転記ミスがないようにすること。 バックアップラベル貼付のネームラベルデータ作成はstartlistに接続展開する。 コピーする元データは作業後決して上書き保存しないこと(データが変更されているかもしれない)。 ラップタイム印刷はA6、速いに設定 		
基準は事前申し込みリスト、E-Card&コントロールユニット番号リストおよびOCADcoursesデータ		